

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>	研究成果情報発信促進事業	<b>担当部局庁</b>	研究振興局	<b>作成責任者</b>				
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	昭和43年度～平成22年度	<b>担当課室</b>	情報課学術基盤整備室	学術基盤整備室長 鈴木達也				
<b>会計区分</b>	一般会計	<b>施策名</b>	Ⅸ-3 科学技術振興のための基盤の強化					
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-	<b>関係する計画、通知等</b>	第3期科学技術基本計画 (平成18年3月閣議決定)					
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	科学技術・学術情報の円滑かつ効率的な流通を図るため、科学技術・学術情報流通に関する業務を実施する。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	科学技術・学術情報流通に関して、研究成果情報の発信を促進し、我が国の大学等における教育研究環境の整備・充実に資するため、学術情報基盤の実態把握に係る業務を実施する。							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	11.4	9.9	9.1	-	-	
		補正予算	0	0	0	-	-	
		繰越し等	0	0	0	-	-	
		計	11.4	9.9	9.1	-	-	
		執行額	5.5	6.2	7.2	-	-	
	執行率(%)	48.2%	62.6%	79.1%	-	-		
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	調査等による実態把握の事業であるため、それが、どれだけ科学技術振興のための基盤の強化に貢献できたかについて、成果の達成度を数値で定量的に示すことは困難。		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	学術情報基盤に関する実態の把握のための調査回数		活動実績 (当初見込み)	回	1	1	1	-
<b>単位当たりコスト</b>	7.2(百万円/回)		算出根拠	単位当たりコスト = 執行額(7.2百万円) / 調査回数(1回)				
<b>平成23・24年度予算内訳</b>	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計	-	-					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業にかかる経費は、文部科学省において直接執行しており、会計規則に基づき適切な処理に努めている。</li> <li>・事業の実施に当たっては、科学技術情報流通体制の高度化や研究成果情報の発信を促進するという業務の専門性を踏まえ、今後は、外部専門家の活用を図ることとし、多くの競争参加者を得るよう仕様書を工夫する等によりさらに競争性を導入することを検討すべきである。</li> <li>・科学技術・学術に関する情報基盤の高度化に向けた事業は本事業以外にも存在していたことから、いったん廃止し、「科学研究情報発信基盤の強化」に整理統合した。</li> </ul>	
平成21年度レビューの指摘を踏まえ、平成22年度をもって廃止の上、他事業と整理統合している。			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

A. 文部科学省  
7.2百万円

情報処理業務庁費 7.2百万円

事業概要：  
科学技術・学術情報流通  
に関する業務等

情報処理業務庁費は成果物の印刷・発送等であり、1件百万円以上のものはない。

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A.文部科学省			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
情報処理業務庁費	成果物の印刷・発送等	7.2			
計		7.2	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)